

昨年に続き、総合優勝は愛知工業大学名電高等学校！！

第30回中部チアリーディング選手権が愛知県名古屋市のポートメッセなごやにて開催されました。前日まで悪天候が心配されましたが、当日の朝までに雨が上がり時折晴れ間も見え、およそ3000名の観客の皆様にお越しいただきました。

総合優勝は、昨年に続き高等学校の部 優勝の**愛知工業大学名電高等学校（愛知県）**。自由演技、規定演技ともに1位となり、自由演技では演技全体の完成度に加えてピラミッドの安定感やバスケットトスの高さ、パートナースタンツの美しさなど実力を如何なく発揮しました。



愛知工業大学名電高等学校

また、中学校、小学校高学年、小学校高学年ユース、小学校低学年の4つの部で優勝したのは**ENSチアリーディングクラブ（静岡県）**。表彰式でのあどけない姿が微笑ましく、会場からは大きな拍手が送られました。



ENS チアリーディングクラブ

昨年度大会でも各チーム非常に完成度の高い演技を披露していましたが、今大会も完成度が高く、かつ昨年よりも難易度の高い技に挑戦するチームが増えていたことが印象的でした。中でも、高等学校の部で準優勝した**清林館高等学校（愛知県）**は、昨年から男子部

員が入部し、より一層力強く安定感のある演技ができるようになった印象です。8月に開催される JAPAN CUP では、さらに男子選手の力をうまく活かし、活躍してほしいと思います。



清林館高等学校

そして、今大会で最も印象に残ったのは、ジュニア選手がとても元気いっぱいだったことです。大きな声と弾ける笑顔が溢れ、演技をしている選手だけでなく、選手席から声援を送るジュニア選手たちもとにかく元気がよく、大会を大いに盛り上げてくれました。

前に演技したチームが完璧な演技を披露すると、大抵次に続くチームはプレッシャーで緊張感が高まるものですが、今大会はそのプレッシャーを力に代え、次々に良い演技を披露していくというような、プラスの連鎖が起きた大会でした。日頃から合同練習等でチーム同士の交流が盛んな中部地区ですが、中部選手権でもお互いの演技に声援を送り合い、選手席では隣同士のチームで交流が生まれ、チアリーディングを通して様々な年代の選手たちが触れ合う姿はとても良いものでした。

<中学校の部>

出場4チーム中、3チームが準決勝進出、1チームがフライデートーナメント進出という結果となり、全チームが JAPAN CUP への出場権を得た。



中学校の部出場チームの様子

<高等学校の部>

第3位の**中京大学附属中京高等学校（愛知県）**が安定感のある演技で、自由演技で高得点を獲得するも、エントリー数によりフライデートーナメント出場となる。JAPAN CUPでの準決勝進出をかけた再チャレンジに期待。



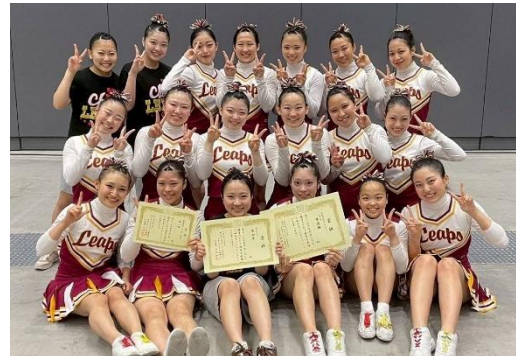
中京大学附属中京高等学校

<大学の部>

昨年に続いて**中京大学（愛知県）**が優勝。準優勝の**名城大学（愛知県）**までが準決勝進出。JAPAN CUPでは細かいミスを抑えてより完成度の高い演技を期待したい。



中京大学



名城大学

<社会人の部>

チアリーディングチーム **DANDE☆LIONS（愛知県）**が初優勝。創部間もないチームだがJAPAN CUPでも伸び伸びと勢いのある演技を披露してほしい。



チアリーディングチーム DANDE☆LIONS

<小学校低学年>

どのチームもとても大きな声で、カラーアピールなど上手に観客を巻き込んでいた。これからの中部地区を担う低学年選手たちの活躍が楽しみである。

<小学校高学年>

昨年度大会に比べ出場チーム数が大幅に増えた。ユースの部では、限られたルールの中であっても、より多くの種類のスタントを工夫して行っており、アームモーション・ダンス・ジャンプといったスタント以外の部分もしっかりと練習を積んできたことが伺える内容だった。アドバンスの部では、優勝した ENS チアリーダーディングクラブにラインオーバーがあったとはいえ、準優勝の一宮チアリーダーディングクラブ（愛知県）が1点差で迫り、高いレベルでの競い合いをみせていた。



一宮チアリーダーディングクラブ

<エキシビション・エキシビション混成・エキシビション ジュニアスター>

エキシビション ジュニアスター技能賞の名古屋ジュニアチアリーダーディングクラブ（愛知県）と名古屋西チアリーダーディングクラブ・A（愛知県）は、幅広い年齢層の選手と一緒により高い難易度と完成度を目指して練習してきたことが伝わる演技だった。



名古屋ジュニアチアリーダーディングクラブ



名古屋西チアリーダーディングクラブ・A

<チアリーダーディングスピリッツ演技競技・スタント演技競技>

数は少ないながらも、全部門にエントリーがあったことで大会が大いに盛り上がった。残念ながら予選通過チームはなかったが、各部門にそれぞれの良さがあるため、今後もぜひ多くのチームがチャレンジしてくれることを期待したい。

第30回の記念すべき大会が行われた6月15日はちょうど父の日。お父さんに「ありがとう」を伝えるこの日、会場ではたくさんの「ありがとう」を見ることができた。

選手へ、家族へ、先生へ、仲間へ、ライバルへ、友達へ、観客の方々へ、大会運営にかかわるすべての人へ…。大会は、1つの成果が試される日です。悔しく終わっても、ベストを尽くしても、泣いて終わっても笑って終わっても、またここから次に進むためのスタートの場にもなります。そこにはたくさんの「ありがとう」が行き交い、会場を温かな空気が包み込んでいました。

中部地区では、中部チアリーディング連盟による安全講習巡回開催など、チアリーディング活動における安全意識の向上を大切にしています。チアリーディングが華やかで観ている人をワクワクさせるその水面下には、安全であるという土台がきちんと築かれているように。中部選手権がたくさんの難易度のある技に挑戦しながらも一番安全な大会となるよう、そしてチアリーディングの魅力を正しく認識してもらえるように、中部地区のチアリーダー達がリーダーとなって発信してくれることを願っています。



本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.